

街づくり協議会より活動紹介

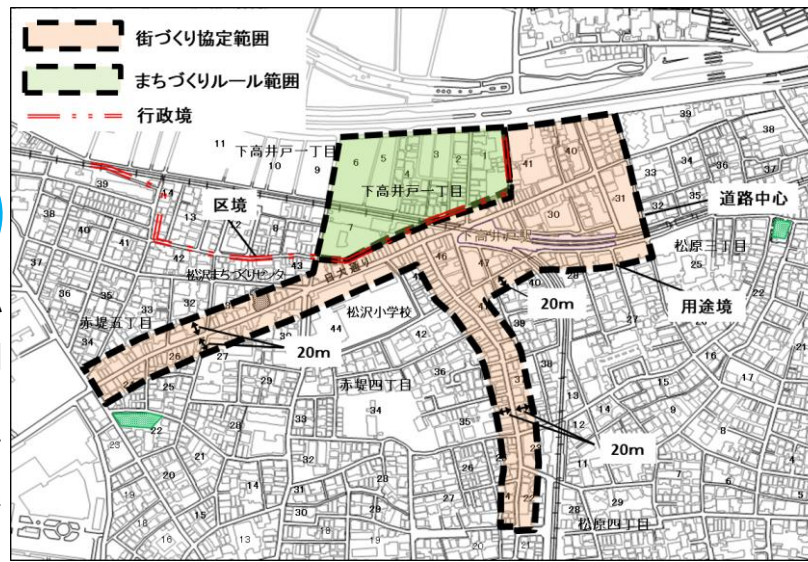
しもたかブックを広める取組み

【世田谷区】
「区民街づくり協定」

令和4年
6月6日
登録

【杉並区】
「まちづくりルール」

令和4年
4月8日
登録



区の窓口やホームページでもしもたかブックの周知が可能になり、右図の範囲内で建築する方に区が周知します。

地域の「まちづくりの目標」や「まちへの思い」を建築計画の参考にいただいています。

懐かしい下高井戸の写真展示



下高井戸駅周辺地区街づくり協議会は京王線連続立体交差事業を契機としてまちづくりを進めてきました。また、下高井戸商店街振興組合は創立50周年を迎え、変わりゆく街の記憶を今後の街づくりに活かすために下高井戸の懐かしい写真を展示し、皆様と下高井戸の歴史を振り返りました。

問い合わせ先

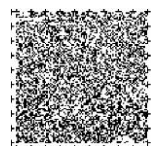
下高井戸駅周辺地区街づくり協議会
東京都世田谷区松原3-30-12 下高井戸商店街振興組合 (内)
電話：03-3322-5945 FAX:03-5300-3347



問い合わせ先

【世田谷区】 北沢総合支所 街づくり課 担当：川井、鈴木
〒155-8666 世田谷区北沢2-8-18 北沢タウンホール11階
電話 03-5478-8073 FAX 03-5478-8019

【杉並区】 都市整備部 市街地整備課 担当：門脇、瀧澤、朝比奈
〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 杉並区役所 西棟3階
電話 03-3312-2111 (内線 3379) FAX 03-3312-2907



下高井戸駅周辺街づくりニュース

第8号

令和5年3月発行

下高井戸駅周辺の街づくりの取組みをご紹介します

世田谷区と杉並区は、「下高井戸駅周辺地区地区街づくり計画（世田谷区）」と「下高井戸駅周辺地区まちづくり方針（杉並区）」を平成25年度に策定しました。

この計画・方針を踏まえ、地元街づくり協議会が、まちの魅力や課題、具体的なまちづくりの将来像や方向性を示した「みんなでつくる明日のしもたかブック」をまとめました。

このブックに掲げるまちの将来像を実現するため、今年度、協議会は、しもたかブックの周知、ベンチ設置の検討を行い、両区では「街づくり懇談会」と「活動報告会」を開催しました。本ニュースでは、この内容についてご紹介します。



〇：街づくり懇談会の対象範囲
①～④：4つの地域主体の街づくり勉強会

街づくり協議会

しもたかブックを
実現するための活動



甲州街道(バス停前)に
ベンチ設置を検討中

区主催
参加者：19名 (オンライン併用)

街づくり懇談会

令和5年1月28日(土)



区主催
参加者：約130名 (オープンハウス)

活動報告会

令和5年3月3日(金)
～3月4日(土)



協議会は、しもたかブックの関係者への周知や地区計画の勉強、くつろげる場所をつくるためのベンチ設置検討、まちの歴史情報を発信するための昔の写真募集を行い、しもたかブックを実現するための活動を進めました。



権利者の方々を対象に、各街区の勉強会(上図①～④)から活動の報告、区から駅周辺の街づくりの動きや地区計画検討のためのアンケート結果の報告、地区計画の紹介、意見交換を行いました。



地域の方々を対象に、協議会の方々のご協力をいただきながら、街づくり懇談会の活動内容について、パネルや模型を使ってご報告し、まちの今昔の写真展示を行いました。

第13回 街づくり懇談会

令和5年1月28日（土）午前10時～12時

アンケート調査の概要・結果

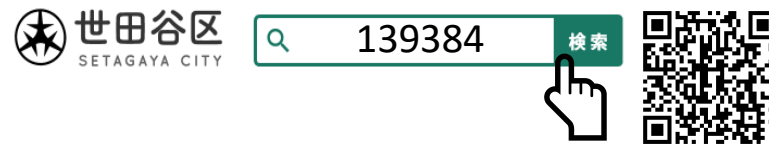
昨年8月に行った「まちづくりのルール（地区計画）」のアンケート調査結果より、今後検討していく必要がある街並み形成のルールを報告しました。

●アンケート調査の概要

対象者：下高井戸駅周辺の商業系の用途地域（商業地域と近隣商業地域）及び都市計画道路補助128号線の沿道から20mの範囲にお住まいの方や事業者の方、土地や建物に係る権利を有する方
 回答率：約18%（516/2935）

●アンケート結果の閲覧先

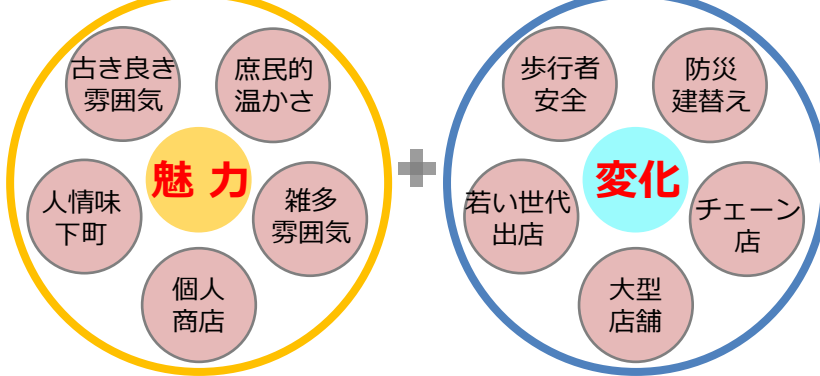
世田谷区ホームページよりご覧いただけます。



●まちの現状

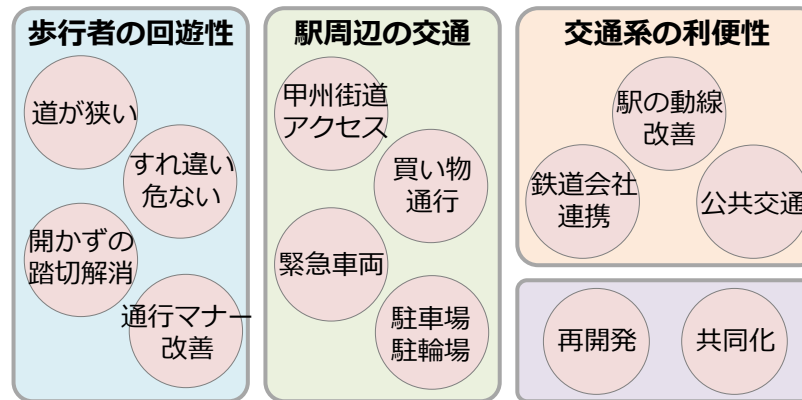
アンケート設問		アンケート結果	地区計画：街並み形成のルール
快適性・利便性について	樹木等のみどり	不満・やや不満が約6割	「道路沿いの緑」や「ベンチを設けることのできる空間」について、維持管理や治安の問題等も考慮し検討が必要
	ベンチ等のくつろげる場所	不満・やや不満が約7割	
商店街について	店舗が多くて便利である	そう思う・やや思うが約7割	店先と道路との関係をさらに魅力的にする為に「軒先空間のルール」や「道路に面する部分」について検討が必要
	にぎわいを感じる	そう思う・やや思うが約7割	
防災性について	建物が密集していて、災害時の延焼に不安を感じる	そう思う・やや思うが約7割	交通問題や安全性も考えながら、「防災性の向上」や「歩行者空間の確保」について検討が必要
	緊急車両の通行に不安を感じる	そう思う・やや思うが約8割	

●街づくりの方向性 下高井戸らしさ



下高井戸らしい魅力を残してほしいという意見と、次の世代に向けて変化を求める2つの視点がありました。

●駅周辺の交通



歩行者や駅利用者としての視点で、多くの改善要望の意見がありました。

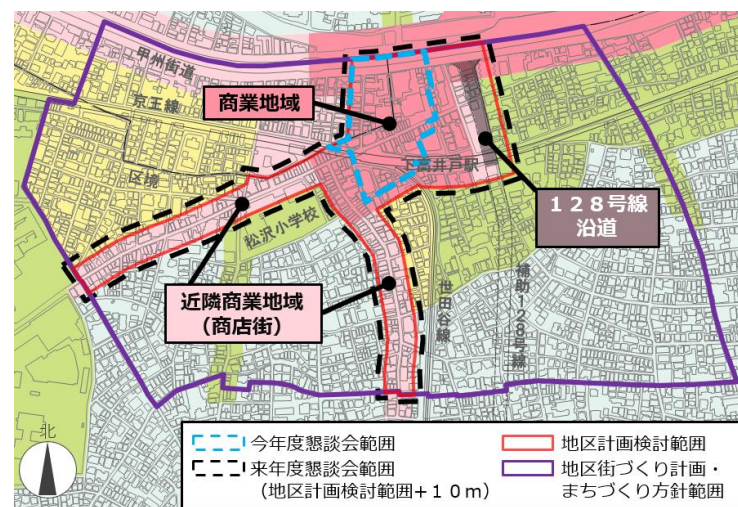
※上記は自由意見で多くいただいた意見をキーワードにまとめたものです。

地区計画検討の街づくり懇談会

地区計画の検討に併せて、令和5年度からは、懇談会の範囲を拡大して地区計画に関する意見交換を行う予定です。

懇談会範囲（令和5年度～）

地区計画の検討範囲である世田谷区「地区街づくり計画」及び杉並区「まちづくり方針」内の商業地域+近隣商業地域+補128号線沿道から20mに、影響範囲である10mを加えた範囲に土地・建物等の権利を有する皆様



活動報告会

令和5年3月3日（金）・4日（土）午後1時～7時

まちづくりのルール（地区計画）のアンケート調査結果や今後の取り組み等のパネルや模型の展示を行いました。

皆さんから頂いた多くのご意見をふせんに書いて共有しました。頂いたご意見は今後の街づくりの参考とさせていただきます。



主なご質問やご意見

街づくり懇談会、活動報告会で頂いた主なご質問・ご意見をご紹介します。

●まちの現状

※回答は世田谷区・杉並区

- Q 京王電鉄京王線連続立体交差事業の進捗を教えてください。
- A 令和4年3月15日に事業期間が令和13年3月31日まで延伸されました。令和4年3月末時点での用地取得率は約84%です。
- Q まちの緑を増やすことは行政任せにするのではなく、住民を巻き込んで「花づくり運動」のようなボランティア活動に発展できるとよいと思う。
- A 小田急線の下北沢駅周辺では、鉄道跡地整備の際に住民の皆さんから緑化等への意見が出て、住民参加でできた花壇を住民自ら管理している公園があります。

●街づくりの方向性への意見

- ・シャッターが降りた店を増やさない努力と若い人の出店を補助してほしい。
- ・豪徳寺の商店街には昔からの専門の店だけでなく、若者が開いている店も多い。若者が出店できる機会が増えれば、下高井戸のまちはもっと発展すると思う。
- ・若者が集まり、学生など若者の意見を取り入れる街づくりをしてほしい。
- ・建物が密集しているので建替えを進め、一時避難ができる場所や防災スペースを設けるなど防災性を高めてほしい。
- ・個人商店が多く、下町らしく落ち着いたまちになってほしい。

●その他ご意見

- ・すぎ丸の停留所にベンチを置くことはとても良いので、すぐに実行してほしい。
- ・活動報告会のように街づくりの動きを知れる機会を今後も設けてほしい。
- ・アンケートはホームページなどからも回答できるようにしてほしい。
- ・駅周辺に乗入れる車は、バス、タクシー、緊急車両等に限定し、時間も制限する方がよい。車は歩行者の安全のためにも駅周辺以外を通すのがよいと思う。
- ・荷捌き場が必要だ。
- ・駐輪場が少ないので128号線の地下に設置してほしい。
- ・駅の近くでタクシーやバスに乗れるとよい。
- ・しもたかブックを店舗で配布するなど、周知する方法を増やした方がよい。